

EGOTERIC

X-1

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

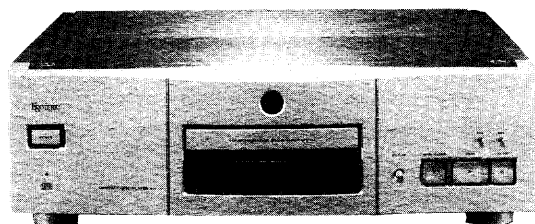
5700128100

TEAC®

このたびは、エソテリック製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ティアック技術の集大成により完成された「エソテリック」製品は、個々の部品選択から製造工程、出荷にいたるまで数多くの厳しい品質管理を一台一台受け製造されております。

最良のコンディションでご使用いただけますように、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくご使用になり末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。



目次

特長	5
ご使用の前に	
● 設置／使用上のご注意	6
● 防振装置について	7
● コンパクトディスクの取り扱い	7
各部の名称と説明	
● 本体前面／背面	8～9
● リモート・コントロール・ユニット	10～11
リモコンについて	
● 電池について	12
● 使用上のご注意	12
接続	
● ステレオ・アンプとの接続	13
● 電源の接続	13
演奏	
● 基本操作	14
● ディスクテーブルを開いたままでも	14
● ダイレクト選曲	15
● 演奏の中止	15
プログラム演奏	
● プログラムのセット	16
● プログラム内容のチェック	16
● プログラムの修正	17
● デリート・プログラム演奏	17
リピート演奏	
● 1曲リピート演奏	18
● オール・リピート演奏	18
● ブロック・リピート演奏	19
● プログラム・リピート演奏	19
便利な機能とその使い方	
● スキップ・サーチ	20
● 早送り／巻戻し	21
● インデックス・サーチ	21
● タイム・カウンター	22
● オート・スペース	22
タイマー演奏	23
ブロック・ダイアグラム	24
解説	25
仕様	26
アフター・サービスについて	27

特 長

■独自の高精度メカニズム。大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.

(Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System)

このメカニズムは、従来のメカニズムと異なり、CDディスクを同径のターンテーブルに圧着させ回転させています。アナログ・ディスク同様、大きな面で正確にホールドすることにより、面プレを極小に押し込め込み、高精度な信号の読み取りを実現。同時に、ミクロン・オーダーでビットの情報を読み取るピックアップのアクチュエーターへのサーボ電流を大きく低減させる等、メカニズム系の不要振動を徹底的に排除しています。

■ピックアップメカニズムのバランス駆動

駆動アンプからモーターを通過してアースへ流していた電流を位相反転させたアンプに流すことによって、正および負電源の過負荷を低減させるとともに、アース回路に電流を流さないため常にピュアなアース電位が確保できます。

■ハイパス「ディザ」を新採用。新開発ディストーション・シェーパー《ZDI》サーキット。

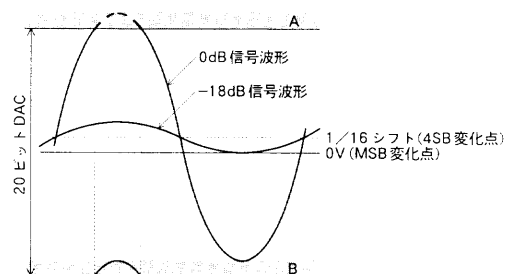
高域集中型「ディザ」(ハイパス・ディザ)を用いることにより、ディザ信号を可聴帯域外へと追いやり、極めて高いS/N比を獲得。D/Aコンバーターの変換誤差を分散させ、超低歪率化を実現するディストーション・シェーピング効果を完全なものとしています。

■信号電流の影響を完全に排除したピュアー・アース電位。アナログ/デジタル《バランス伝送》。

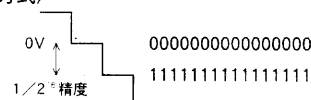
デジタル/アナログ基板間の信号伝送の際、逆相信号を同時に伝送することにより、信号および信号に付随する雑音電流のアナログ回路への流入を防止し、さらに、アナログ基板内でもD/Aコンバーターの出力からライン出力までの回路をバランス化し、アース回路への信号電流の流入を防ぐことによって、ピュアーなアース電位を獲得し、高品位な再生音を獲得しています。

■1/16シフト20ビットDAC採用

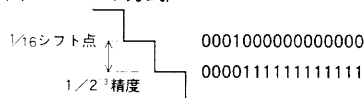
デジタル信号全体にフルスケールの1/16を加えることにより、ゼロクロス歪みが問題となる基準を1/16シフトし、4SB変化点へ移行させることによってゼロクロス歪みは4SB誤差となり、従来のMSB誤差に比べ 2^3 (8倍)精度が向上しています。同時にMSB変化点は使用頻度の少ない高いレベルへシフトされたことになり、 -18dB 以下の信号についてはMSB誤差、2SB誤差および3SB誤差が発生しなくなります。また、0dBの信号が入力された場合でも飽和領域Aの信号はB領域を使って処理されるため、オフセットによるダイナミックレンジの悪化がありません。



〈従来方式〉



〈1/16シフト方式〉



■その他の特長

- 8fs25ビットデジタルフィルター
- GIC3次バターワースフィルター
- バランス巻線大容量カットコア電源トランス
- 正負独立電源
- センターメカ無共振構造
- 高比重ステンレス合成フロントパネル
- 極太OFC電源コード
- 機内配線に単結晶無酸素銅線材を採用
- 箔厚70ミクロンのプリント基板

ご使用前に

■設置／使用上のご注意

設置場所について

次のような場所で長時間ご使用になりますと、音質が悪化したり故障などの原因となります。ご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)、または温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)、では製品の正常な機能を維持できない場合がありますので避けてください。
- 湿度の多い場所(湿度90%以上)では金属部品にサビを生じたり故障の原因となります。
- ホコリの多い場所ではスイッチなどの接触不良や雑音等の発生原因になり性能をそこなうことがあります。
- 結露が発生した場合、一時的に正常動作をしないことがあります。
- その他、トランスやモーターの近くの設置は誘導ハムをひろう原因となりますので、離して設置してください。また、振動の多い場所も避けてください。
- 必ず水平な場所に置いてご使用ください。

セットのお手入れには

セットをベンジン、シンナー系の液体で拭いたり、化学ぞうきんを使ったり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することは避けてください。お手入れは、必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。

取り扱いはいねいに

スイッチやツマミ、キャビネットなどに無理な力を加えることは避けてください。

電源電圧はAC100V

定格電圧100Vでご使用ください。また、電源コードは大切にお使いください。特に、コンセントからははずすときは、必ずプラグを持って抜いてください。

※本機は、国内電源AC100V、50/60Hzの範囲でお使いください。この電圧以外でのご使用は保証できかねます。

落雷に対する注意

落雷のおそれのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

ディスク

ヒビが入ったディスクは絶対に使用しないでください。また、ディスクレコード面にはほこりや指紋を付けないように取り扱ってください。

光ヘッド(半導体レーザー)

光ヘッドは、プレーヤーの性能を決める重要な部分のひとつです。触れないようにしてください。光ヘッドの表面をきれいに保つために、プレーヤーをご使用にならないときは、ディスクテーブルをしめておいてください。

水に濡れたら

万一雨が降ったり、花びんなどの水をセットにこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。この状態で電源を入れた場合、感電の恐れもあり危険です。また故障の原因となりますのでご注意ください。

ケースを開けない

トップカバーや底板を開けて内部に手などを入れますと、故障や感電事故を起こすことがあります。何か異物が入ったときには、すぐ電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

スタビライザーは使用しない

市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

結露現象について

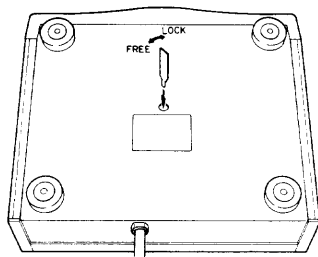
冬期などに本機(またはコンパクトディスク)を戸外から暖房中の室内に持込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに露がつきます。

露がついたままではレーザー光による信号の読取り演奏ができません。


結露の程度にもよりますが、電源を入れて1～2時間そのまま放置し、本機を室温に保てば露が消え、演奏できるようになります。

■防振装置について

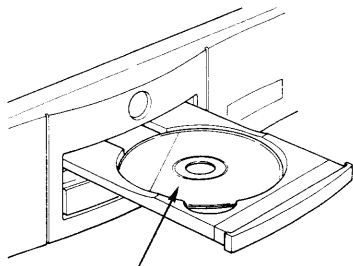
CDプレーヤー内部にあるレーザー・ピックアップ部は、輸送時の振動から守るために、防振装置で固定してあります。本機をご使用になる前は、必ず同装置を解除状態にして下さい。



コンパクトディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク (CD方式) 専用のプレーヤーです。  マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

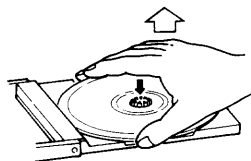
- ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの演奏は片面だけです。)



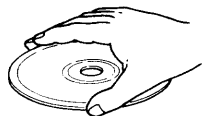
コンパクトディスクのレーベル面が上側

- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。

取り出し方



コンパクトディスクの正しい持ち方



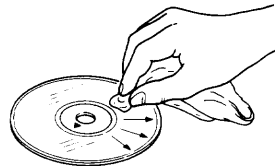
解除のしかた

本機の電源を入れる前に、図のように底面を上にして、付属の金具を差し込み、「FREE」側へ回転させてください。

引越しなどで輸送するときは…

再度、防振装置で固定してください。電源を入れ、ディスク・テーブルを一度開けてディスクが取り出していることを確かめてから、再びディスク・テーブルを閉めます。電源を切り、上記と同じ要領で「LOCK」側へ回転させます。

- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。

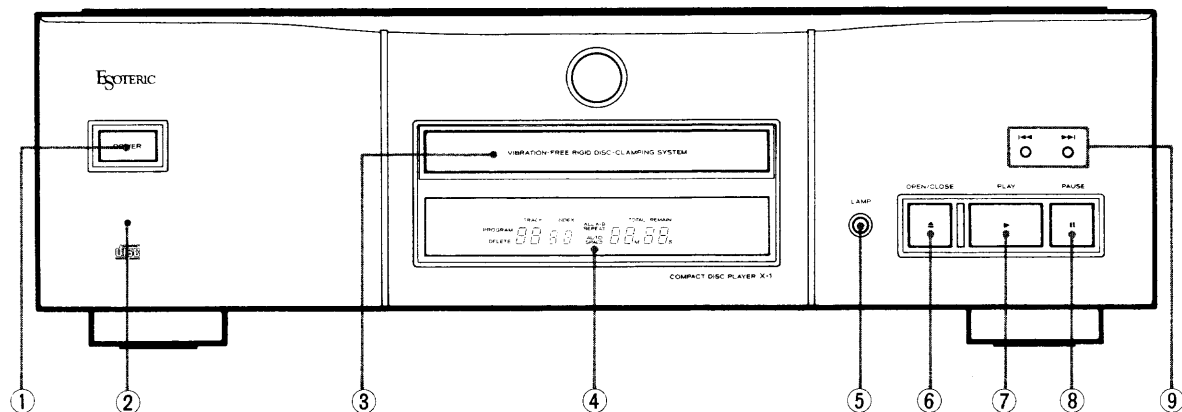


コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれがついたら柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。多少のほこりやよごれは、音質には全く影響ありません。

- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 演奏が終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。コンパクトディスクのひどい変形や、ひどいキズは音とびの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを高温な場所に長時間放置すると変形などの原因となります。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。

各部の名称と説明

■本体前面／背面



①電源スイッチ〔POWER〕

押ししてON〔〕にすると電源が入り、もう一度押ししてOFF〔〕にすると電源が切れます。

*ディスクが入っている場合は、自動的に演奏が始まります。

②パワー・インジケータ

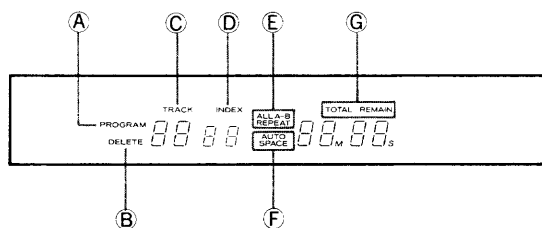
〔POWER〕スイッチを押しして電源が入ると点灯します。

③ディスクテーブル

ディスクを装着するところです。〔OPEN/CLOSE〕キーを押すと前面に出て来ます。〔OPEN/CLOSE〕キー、〔PLAY〕キーまたは〔PAUSE〕キー、テンキーのいずれかを押しすると、ディスクテーブルは収納されます。

④表示窓

本機の作動状態、または各種モードによって次の表示がでます。



⑤〔PROGRAM〕

プログラム・モードで点灯します。

⑥〔DELETE〕

デリート・プログラム・モードで点灯します。

⑦〔TRACK〕：トラック・ナンバー

ディスクを装着したとき、ディスクに入っている曲数を表示します。演奏またはプログラム中は曲の番号(曲番)を表示します。

⑧〔INDEX〕：インデックス

演奏中の曲のインデックス番号を表示します。

⑨〔REPEAT〕：リピート

●〔REPEAT ALL〕：全曲リピート・モード時に点灯します。

●〔REPEAT〕：1曲リピート・モード時に点灯します。

●〔REPEAT A-B〕：ブロック・リピート・モード時に点灯します。

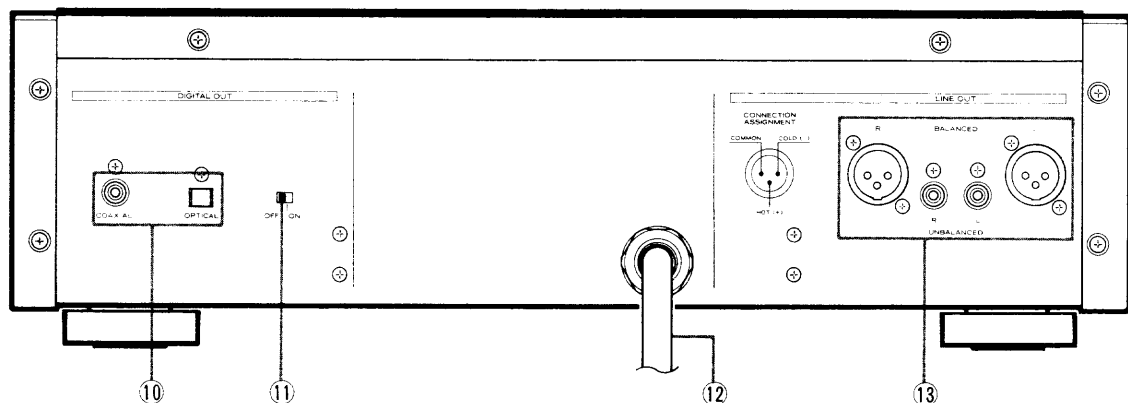
⑩〔AUTO SPACE〕：オート・スペース

オート・スペース・モードで点灯します。

⑪〔REMAIN〕／〔TOTAL REMAIN〕

リメイン／トータル・リメイン

タイムカウンターが残量時間表示モードのときは“REMAIN”が点灯し、総残量時間表示モードのときは“TOTAL REMAIN”が点灯します。



⑤ランプ・スイッチ[LAMP]

押しと本体内部のランプが点灯し、もう一度押しと消灯します。

⑥開閉ボタン[OPEN/CLOSE]

1度押しと、ディスクテーブルが出ます。もう1度押しと、ディスクテーブルが収納します。開閉時、“▲”インジケータが点滅します。また、ディスクが装着されると“▲”インジケータは点灯します。

⑦プレイ・キー[PLAY]

演奏を始めるときに押します。また、プログラム演奏を開始する場合にも押します。“▶”インジケータが演奏中点灯します。

⑧一時停止キー[PAUSE]

演奏を一時停止するときに押します。再び演奏を始める場合は、[PLAY]キーを押します。“||”インジケータが一時停止中点灯します。

⑨スキップ・キー

演奏中または一時停止中に押しと、押し度に曲の頭をサーチします。また、停止中に押しと、曲番の選択ができます。▶20

- [◀◀]: 1回押しと、今聞いている曲の頭に戻り、続けて押しと、前の曲へ戻ります。
- [▶▶]: 1回押しと、次の曲の頭にとびます。続けて押しと、次の曲へと移ります。

⑩デジタル出力端子[DIGITAL OUT]

デジタル信号が出力されます。

- 「COAXIAL」: 同軸コード用出力端子
- 「OPTICAL」: 光ファイバーケーブル用出力端子

⑪デジタル出力スイッチ

デジタル出力をON/OFFします。

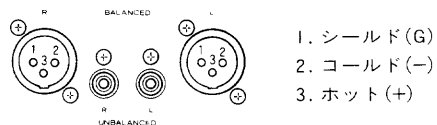
⑫電源コード

電源コンセント(AC100V)に接続します。

⑬アナログ出力端子[LINE OUT]

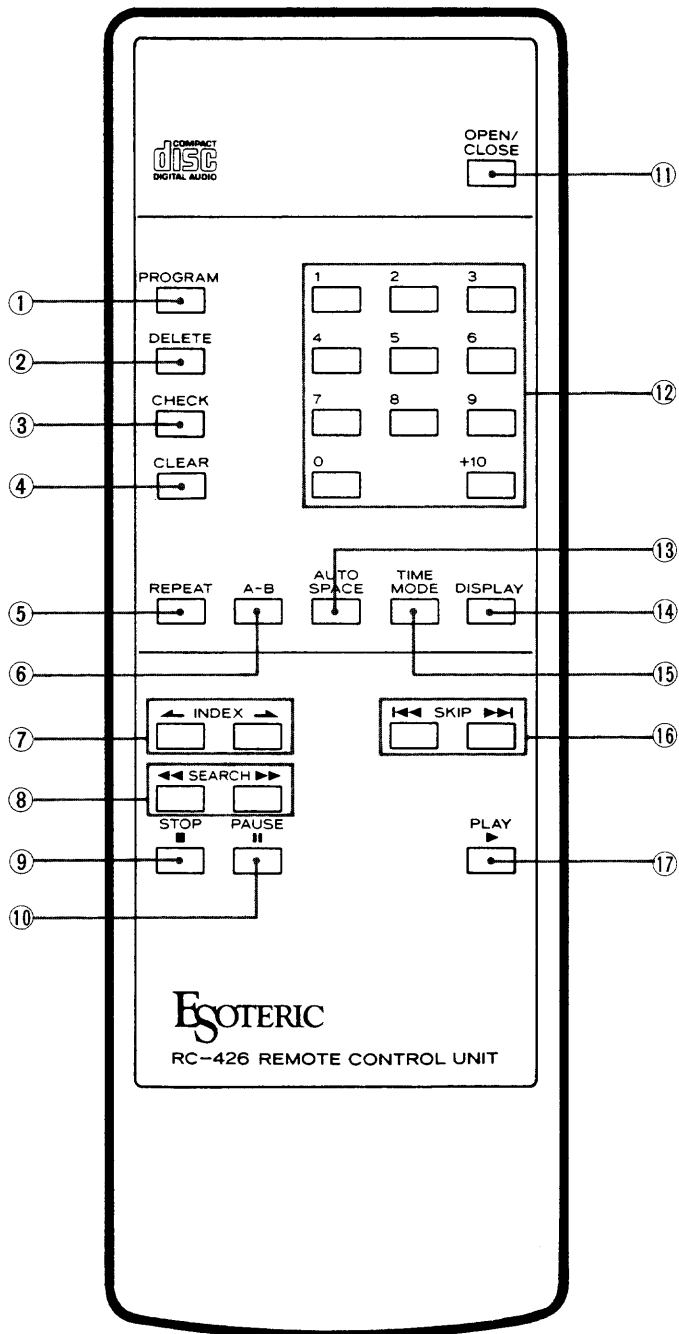
D/A変換されたアナログ信号が出力します。

「BALANCED」端子はキャノン仕様のバランス型出力端子です。



*このコネクタは電子型バランス回路を使用しています。また、1、2ショート接続によりアンバランス接続もできます。

■リモート・コントロール・ユニット(リモコン)



①プログラム・キー〔PROGRAM〕

押してプログラム・モード("PROGRAM"点灯)にすると、プログラム演奏が可能となります。▶16

②デリート・キー〔DELETE〕

押してデリート・プログラム・モード("DELETE"点灯)にすると、聞きたくない曲だけをとばした演奏が可能となります。▶17

③チェック・キー〔CHECK〕

プログラムされている曲のチェックができます。▶16

④クリアー・キー〔CLEAR〕

プログラムされている曲の削除に使用します。▶17

⑤リピート・キー〔REPEAT〕

リピート演奏を行うときに使用します。▶18

⑥ブロック・リピート・キー〔A-B〕

A-B間のブロックリピート演奏を行なうときに使用します。▶19

⑦インデックス・キー〔INDEX〕

インデックスが記録されているディスクでは、インデックスからの演奏ができます。▶21

⑧サーチ・キー〔SEARCH〕

演奏中または一時停止中に押し続けると早送り/早戻しとなります。〔◀〕キーは早戻し、〔▶〕キーは早送りになり、指を離すと元の状態に戻ります。▶21

⑨停止キー〔STOP〕

押すと演奏を停止し、"TRACK 0"表示となります。

⑩一時停止キー〔PAUSE〕

演奏を一時的に止めるときに押します。再び演奏を始める場合は〔PLAY〕キーを押します。

⑪開閉ボタン〔OPEN/CLOSE〕

1度押すとディスクテーブルが出ます。もう1度押すとディスクテーブルが収納します。

⑫テン・キー

曲の番号を選ぶときに押します。0~9は一の位、⁺¹⁰は十の位に使用します。
(例 5 → ⁵□、21 → ⁺¹⁰□ ⁺¹⁰□ ¹□)

⑬オート・スペース・キー〔AUTO SPACE〕

押すと"AUTO SPACE"が点灯し、演奏時の曲間スペースが約4秒になります。もう1度押すと解除されます。▶22

⑭ディスプレイ・キー〔DISPLAY〕

表示窓の表示を暗くしたり、消したりするときに押します。一度押すと、表示窓の表示が暗くなり、もう一度押すと、表示窓および操作キーのインジケーターが消灯します。点灯させるときはもう一度押します。

*消灯中にキー操作を行なったときは数秒間点灯します。

⑮タイム・モード・キー〔TIME MODE〕

タイム・カウンターの表示モードを切り替えることができます。▶22

⑯スキップ・キー〔SKIP〕

演奏中または一時停止中に押すと、押す度に曲の頭をサーチします。また、停止中に押すと、曲番の選択ができます。▶20

●〔◀〕：1回押すと、今聞いている曲の頭に戻り、続けて押すと、前の曲へ戻ります。

●〔▶〕：1回押すと、次の曲の頭にとびます。続けて押すと、次の曲へと移ります。

⑰プレイ・キー〔PLAY〕

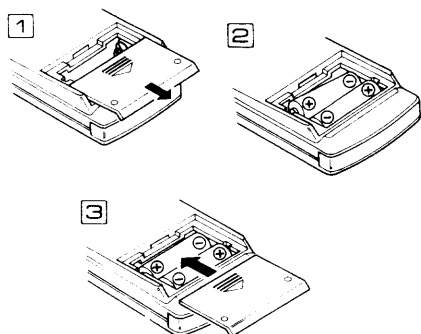
演奏を始めるときに押します。また、プログラム演奏を開始する場合にも押します。

リモート・コントロール・ユニット(リモコン)について

付属のリモコンを使うと、本体から離れた所からCDプレーヤーを操作することができます。リモコンは本体の表示窓に向けて操作してください。

■電池について

リモコンへの装着



- 1 裏側のふたを開ける。
- 2 ⊕、⊖の向きに注意して電池をはめ込む。
- 3 ふたを閉める。

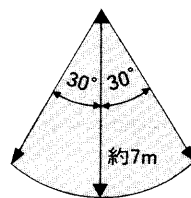
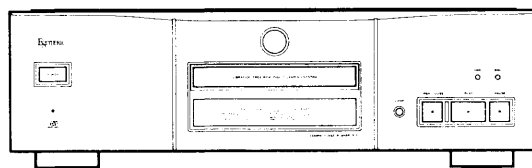
電池の交換時期は……

リモコンでの操作可能範囲が狭くなったり、リモコンの操作キーを押しても本機が動かない場合は、電池が消耗しています。新しい電池に2本とも交換してください。

電池についてのご注意

乾電池を誤って使用すると、液漏れや破裂などの危険があります。

1. 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースの指示どおりに正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 電池には充電式と充電式でないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。



■使用上のご注意

- 本機との間に障害物があったり、操作時の角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発射する機器の近くでCDプレーヤーを使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、CDプレーヤーは誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時に本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しない時は、電池の液もれを防ぐために電池を取出してください。もし液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭取ってから新しい電池を入れてください。

接 続

■ステレオ・アンプとの接続

接続するステレオ・アンプの取扱説明書をよくお読みの上、必ずステレオ・アンプおよび本機の電源を切ってから接続してください。

①アナログ信号を使用する場合

〔LINE OUT〕端子とステレオ・アンプのCD端子等をピンプラグコード(別売)またはXLRタイプコネクター(市販品)を用いたケーブルで接続します。

②デジタル信号を使用する場合

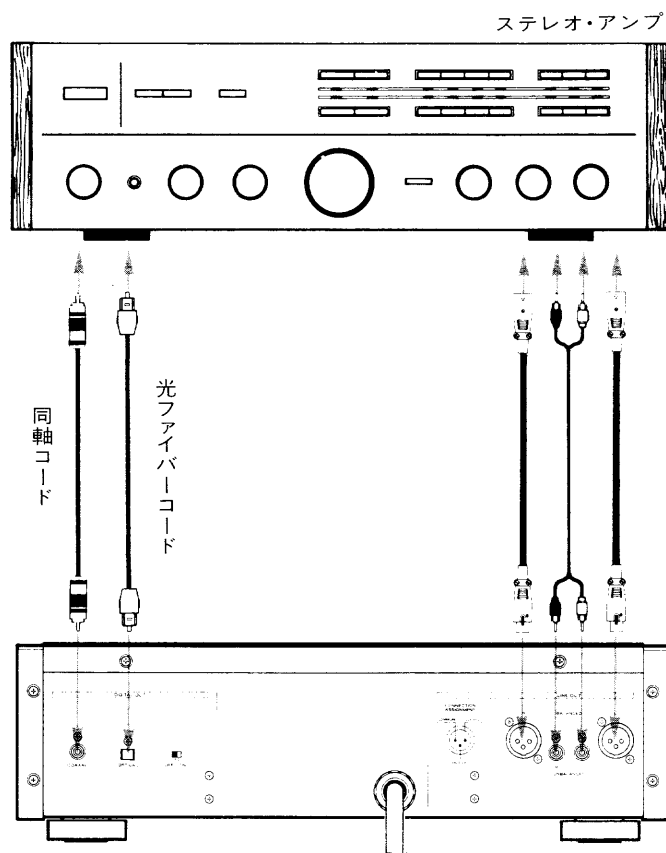
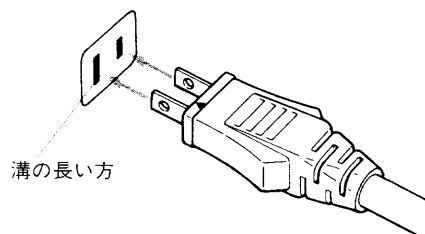
〔DIGITAL OUT〕端子とデジタル入力端子を持つアンプのDIGITAL INPUT等を接続します。(別売の同軸コードまたは光ファイバーコード使用)

* デジタル信号を使用する場合はデジタル出力スイッチをONにしてください。

* 光ファイバー・コードを使用する際は、接続端子のキャップをはずしてください。また、使用しないときは“キャップ”を取り付けておいてください。

■電源の接続

- 必ずAC(交流)100Vの電源コンセントに接続してください。
- 本機の電源は極性管理がされています。電源プラグに“▲”印があるほうがアース側になっていますので、極性を合わせて接続してください。

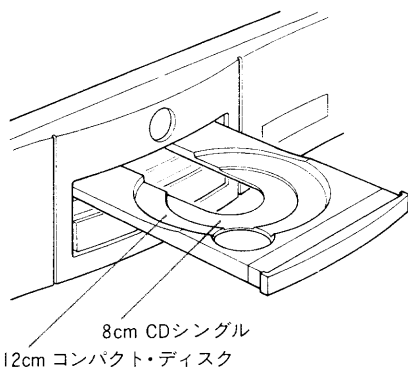


演奏

付属のリモコンは、本機の操作に必要なすべて(電源を除く)を備えています。ここからの説明は、リモコンを使用した場合とします。なお、本体側の操作ボタンでも、リモコンと同じマークまたは名称のキーと同様の操作ができます。

■基本操作

1. [POWER]スイッチを押して電源を入れる。
2. [OPEN/CLOSE]キーを押す。
*ディスクテーブルが手前に出ます。
3. ディスクは、レーベルを上にしてディスクテーブルに乗せる。
*ディスクは中央部のガイドに正しく入れてください。



4. [OPEN/CLOSE]キーを押す。
*ディスクテーブルが閉じ、表示窓に曲数および総演奏時間が表示されます。
5. [PLAY]ボタンを押す。
*本体[PLAY]ボタン内のLEDが点灯し、ディスクの1曲目から演奏を始めます。

■ディスクテーブルを開いたままでも——

[PLAY]キーを押すと……

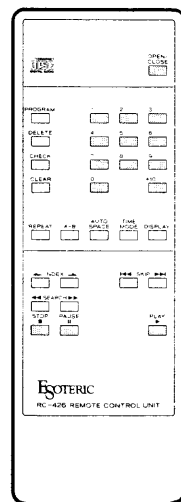
ディスクテーブルが自動的に閉まり、ディスクの最初の曲から演奏を始めます。

テン・キーを押すと……

ディスクテーブルが自動的に閉まり、テン・キーで指定された曲から演奏を始めます。

[PAUSE]キーを押すと……

ディスクテーブルが自動的に閉まり、ディスクの最初の曲で一時停止になります。



■ダイレクト選曲

希望する曲の番号を“テン・キー”で押すと、
〔PLAY〕キーを押すことなく、指定の曲から演奏
が始まります。

例1：曲番5から演奏する場合…

5
□ のキーを押す。

例2：曲番21から演奏する場合…

+10 → +10 → 1
□ → □ → □ の順にキーを押す。

■演奏の中止

ディスクを取り出す場合……

〔OPEN/CLOSE〕キーを押す。

演奏が止まり、ディスクテーブルが手前に出てき
ます。

一時停止する場合……

〔PAUSE〕キーを押す。

演奏が一時停止します。再び演奏を始める場合は、
〔PLAY〕キーを押す。

演奏を止める場合……

〔STOP〕キーを押す。

プログラム演奏

1枚のディスクから好みの曲を、演奏させたい順にメモリーすると、指定した曲だけの演奏“プログラム演奏”を行うことができます。また、プログラムの途中にPAUSEを入れて、プログラム演奏を自動的に一時停止させることも可能です。

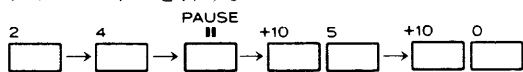
■プログラムのセット

例：2→4→PAUSE→15→10の順に演奏を行うには

1. [STOP]キーを押す。
2. [PROGRAM]キーを押す。



3. テン・キーを押す。



曲番 (TRACK No.) 曲順 (演奏順) 総演奏時間

- * 指定の曲をメモリーする度に、曲番・曲順および総演奏時間が表示されます。
- * 曲番21以降の曲をメモリーに含んでいる場合、総演奏時間は表示されません。
- * PAUSEがメモリーされると、その次の曲からは、PAUSE後の総演奏時間が表示されます。

4. [PLAY]キーを押す。

- * 曲順1から順に演奏を行い、最後の曲を終了すると自動停止します。
- * プログラムにPAUSEを含んでいる場合は、PAUSEの位置で一時停止します。

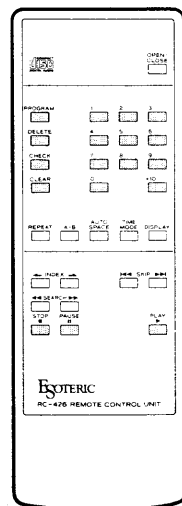
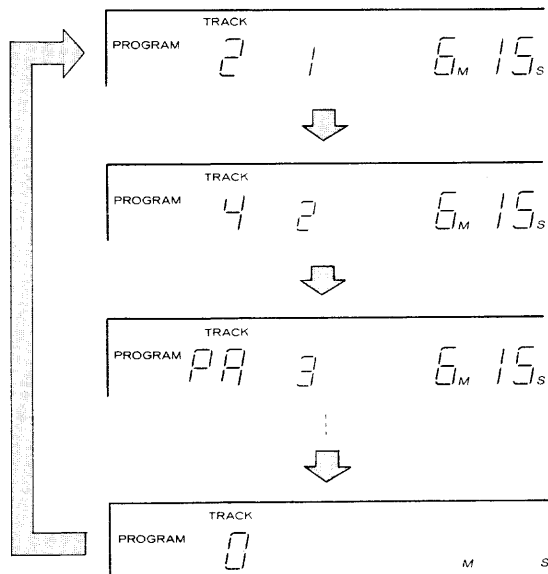
演奏をつづけるときは[PLAY]キーを押します。

- メモリーは最大20曲まで可能です。
- プログラム演奏が終了したとき、または[STOP]キーを押して演奏を止めた場合でもプログラムはメモリーされています。
- プログラム演奏を始める前に[STOP]キー、[PROGRAM]キー、[DELETE]キーを押すと、“PROGRAM”表示が消え、プログラムはクリアされます。

■プログラム内容のチェック

“プログラムのセット”中に[CHECK]キーを押します。

[CHECK]キーが押されるたびに表示窓にプログラムの曲番・曲順を順次表示します。



■プログラムの修正(追加/削除)

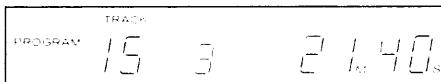
■追加

プログラムにさらに曲を追加する場合は、プログラム演奏前に追加したい曲番のテン・キーを押すだけで、プログラムの最後に曲を追加して行くことができます。

■削除

例: 2→4→15→10とプログラムして、15を消す場合

1. [CHECK] キーを押して、表示窓に曲番15 (TRACK NO) を表示させる。



2. [CLEAR] キーを押す。

* "15"が削除され、次の曲が繰り上って表示されます。

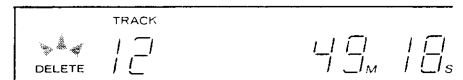


3. 他にも削除したい曲がある場合は、1と2の操作を繰り返します。

■デリート・プログラム演奏

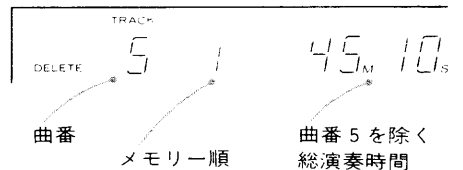
1枚のディスクのうち“演奏したくない曲”をあらかじめ選んでおくと、指定された曲を除いて演奏を行います。つまり、通常のプログラム演奏とは逆の操作になるわけです。

1. [DELETE] キーを押す。



* セットされているディスクの曲数、総演奏時間を表示します。

2. プログラム演奏と同様、ここでは削除したい曲番のテン・キーを押す。



さらに曲を指定する場合は、テン・キーを繰り返し押します。

以上、削除した曲の内容は、通常のプログラムの場合と同じ手順でチェックおよび修正を行うことができます。

* 演奏する曲に曲番21以降の曲を含むときは、総演奏時間が表示されません。

3. [PLAY] キーを押すと、メモリーした曲を除いて演奏を行います。

リピート演奏

ディスクの1曲／全曲／任意のA・B間の各リピート演奏ができます。

■ディスクの1曲を繰り返すには…

<1曲リピート演奏>

1. [REPEAT]キーを押す。

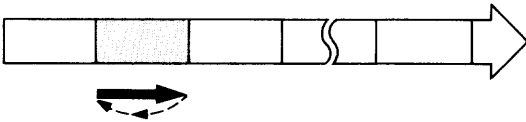


(表示窓に“REPEAT”点灯)

2. 希望する曲番のテン・キーを押す。

* 指定曲の演奏が自動的に始まり、1曲の演奏が終わると再び演奏を繰り返します。

* 演奏中に[REPEAT]キーを押しても同様に働きます。



■ディスクの全曲を繰り返すには…

<オール・リピート演奏>

1. [REPEAT]キーを2回押す。

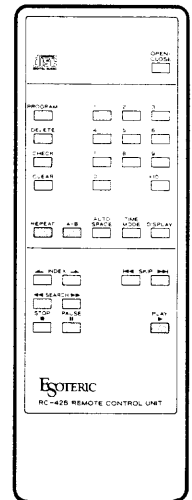
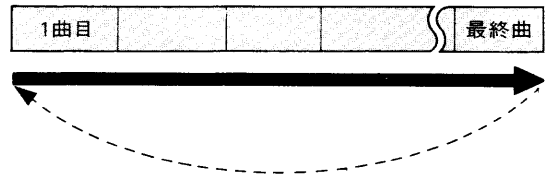


(表示窓に“ALL” “REPEAT”点灯)

2. [PLAY]キーを押す。

* ディスクの1曲目から演奏が始まり、最後まで演奏を行うと、最初に戻って再び演奏を続けます。

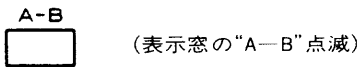
* 演奏を開始後に[REPEAT]キーを2回押しても、同様に働きます。



■指定した区間を繰り返すには…

〈ブロック・リピート演奏〉

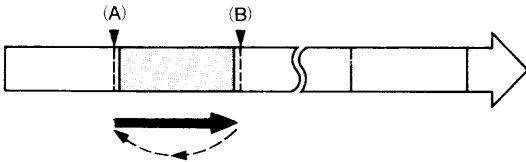
1. テン・キーまたは[PLAY]キーを押して演奏を始める。
2. 繰り返しを行いたい位置(A)で、[A-B]キーを押す。



3. 演奏をそのまま続けるか[SEARCH]キーを押すなどして、繰り返しを終わらせたい位置(B)を見つけ再び[A-B]キーを押す。



4. 最初の(A)に戻り、A-B間の演奏を繰り返します。

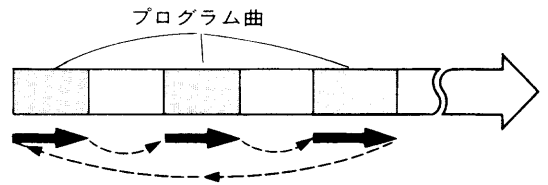
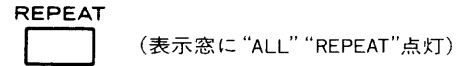


*プログラム・モード/デリート・モードの場合は、2つ以上の曲に渡るブロック・リピートはできません。

*ブロック・リピート・モード時に[A-B]キーをもう一度押すと、ブロック・リピート・モードが解除されます。

■プログラム・リピート演奏

プログラム演奏時(前項参照)に[REPEAT]キーを2回押しておく、プログラム演奏が繰り返行なわれます。



便利な機能とその使い方

■スキップ・サーチ

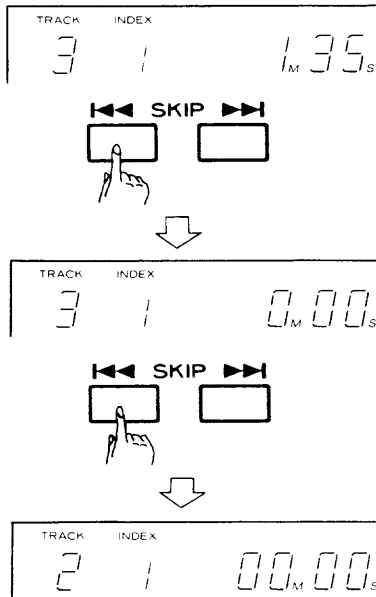
[SKIP]キーを押すと、押す回数によって希望する曲へスキップされます。

停止中または一時停止中に押した場合は、曲番設定後に[PLAY]キーを押すと指定曲から演奏が始まります。

演奏中に押すと次のように働きます。

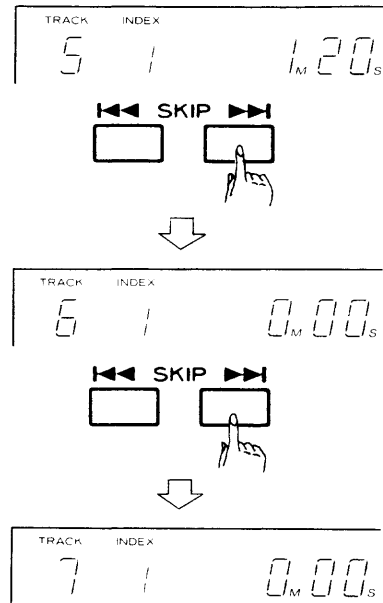
前の曲に戻る

演奏中に「◀◀」キーを押すとその曲の頭に戻り、さらに押す度に前の曲、前の曲へと戻ります。

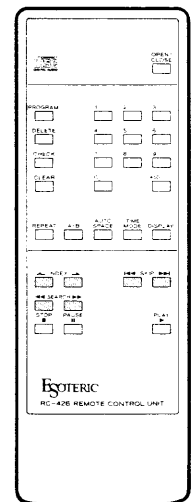


後の曲へスキップ

演奏中に「▶▶」キーを押すと、その度に次の曲へ移り、曲の頭から演奏を続けます。

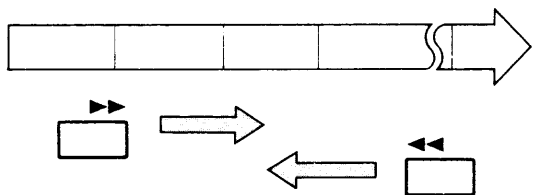


- プログラム演奏時は、メモリーされている曲のみスキップをします。



■早送り／早戻し

演奏中または一時停止中に〔SEARCH〕キーを押すと、押している間が早送り／早戻しになります。「▶▶」キーを押すと早送り、「◀◀」キーは早戻しになります。動作中は再生音が小音量で聞こえますので、再生音または表示窓の時間表示を確認しながら希望の位置が探し出せます。キーから指を離すと通常の再生に復帰します。

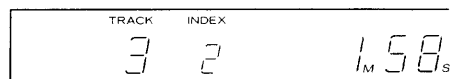
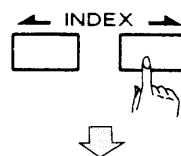
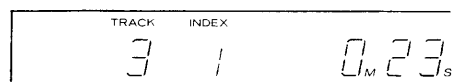


- 演奏中に早送りでディスクまたはプログラムの最後まで来ると、その位置で一時停止になります。また、早戻しでディスクまたはプログラムのスタート位置まで戻ると、一時停止になります。
- プログラム演奏中は、メモリーされている曲をサーチします。

■インデックス・サーチ

本機はインデックス・サーチ機能を備えていますので、インデックスが記録されているディスクでは、希望のインデックスから演奏を始めることができます。

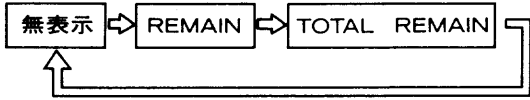
1. テン・キーを押してインデックス・サーチしたい曲を演奏する。
2. 「▶」キーを押して希望のインデックス番号を表示させる。(番号を戻すときは「◀」キーを押す)



3. 指定のインデックス番号へサーチが行なわれ、演奏を続けます。
- インデックス番号以上の「数」をセットした場合は、その曲の最後のインデックスから演奏を行います。

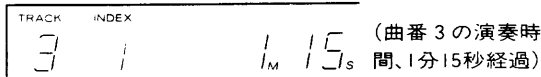
■タイム・カウンター

タイム・カウンターは、[TIME MODE] キーを押すことによって各種タイム・カウンターとして利用することができます。



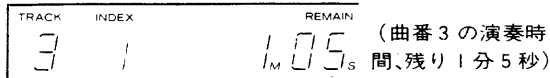
■通常のカウンター(無表示：経過時間)

[TIME MODE] キーを押してカウンター上部の表示を消すと、各曲ごとの経過時間を表示するカウンターとなります。



■リメイン・カウンター(REMAIN：残量時間)

[TIME MODE] キーを押してカウンター部に“REMAIN”を点灯させると、各曲ごとの残り時間を表示します。

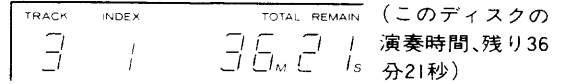


* 曲番21以降の曲および一曲リピート演奏時は表示しません。

■トータル・リメイン・カウンター

(TOTAL REMAIN：総残量時間)

[TIME MODE] キーをさらに押すと“TOTAL REMAIN”が点灯し、演奏を終了するまでの総演奏時間を表示します。



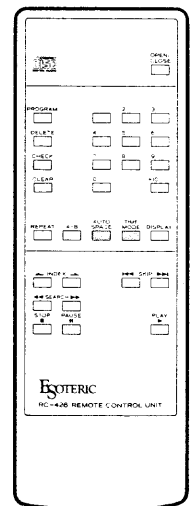
* リピート演奏時は表示しません。

- ストップした場合に、タイム・モードは(無表示：経過時間)になります。
- ディスクを装着した時は、自動的に“TOTAL”が点灯して総演奏時間を表示します。

■オート・スペース

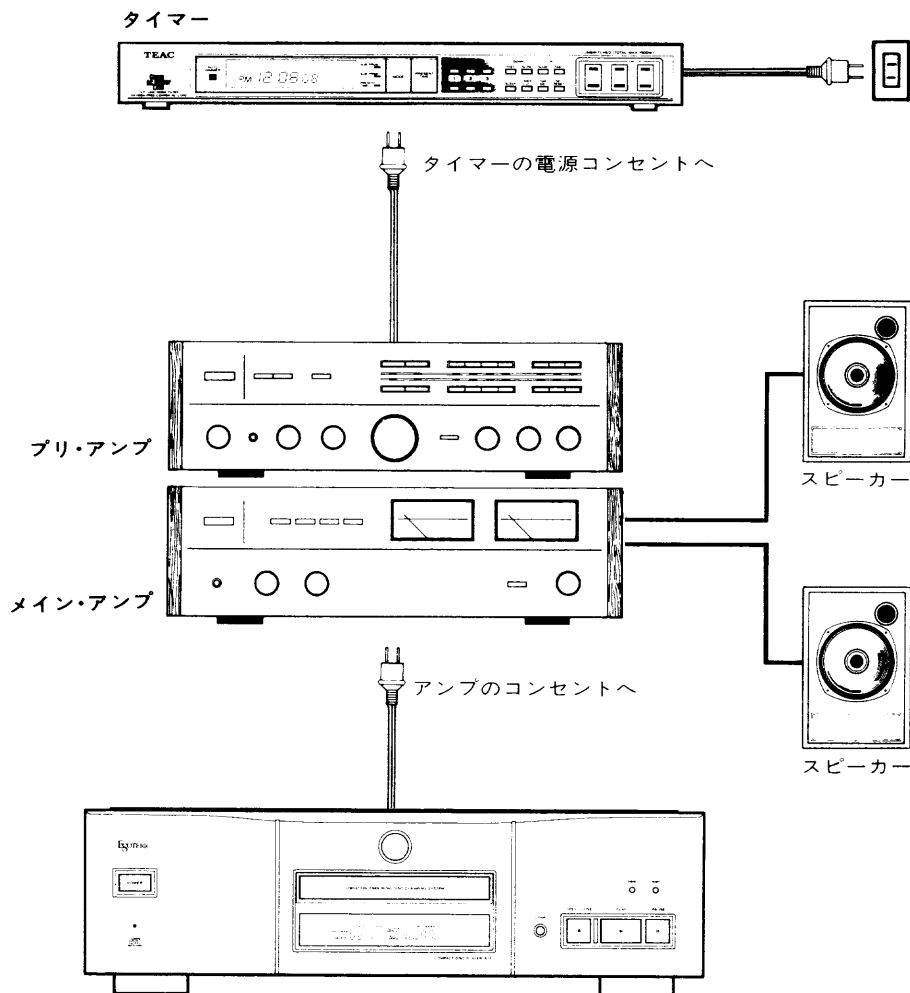
[AUTO SPACE] キーは、演奏時の曲間スペースを一定(約4秒)にして演奏を行います。

[AUTO SPACE] キーを押すと表示窓に“AUTO SPACE”が点灯してONとなり、もう一度押すとOFFになります。



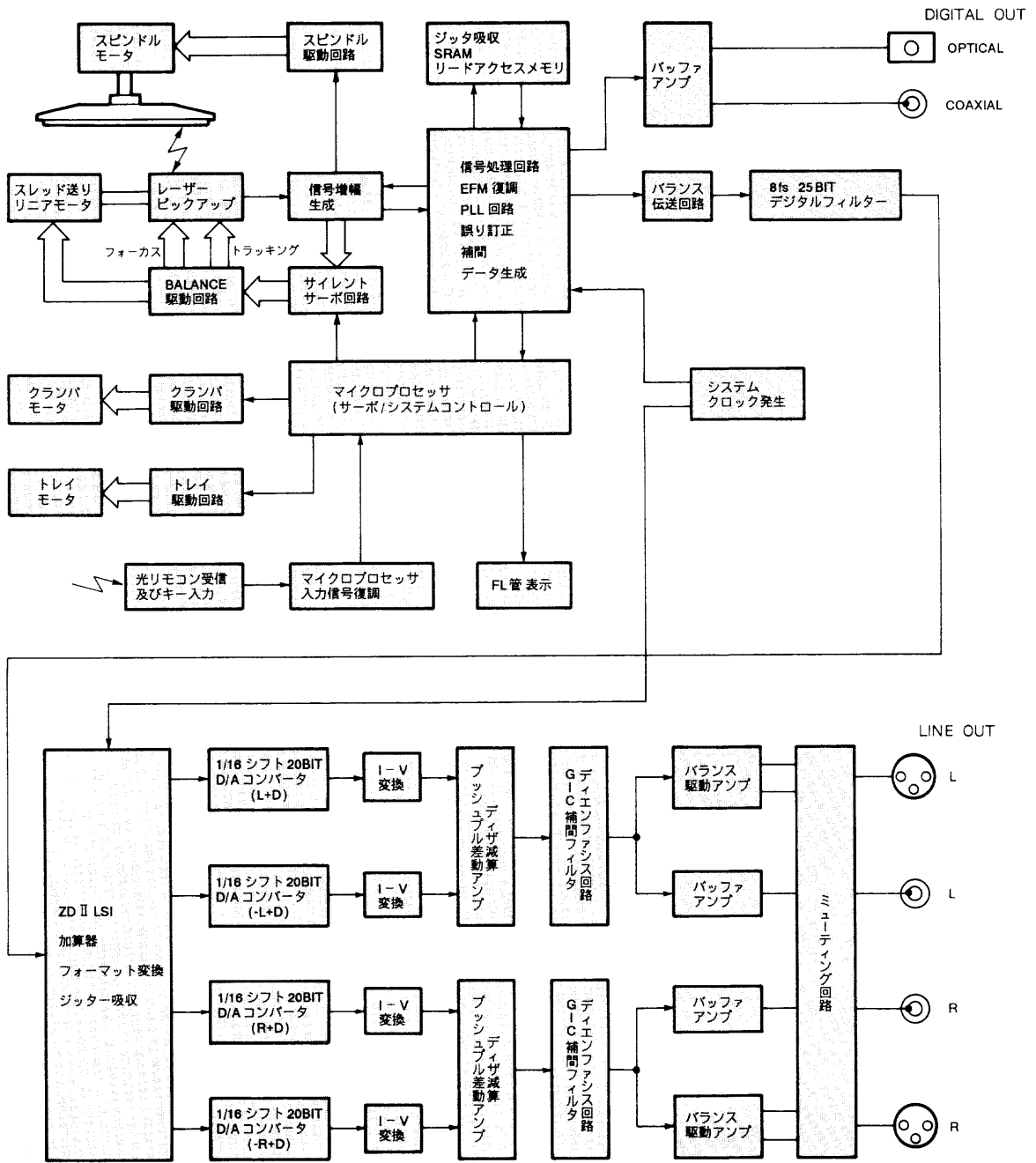
タイマー演奏

さわやかな音楽で目を覚ましたい……。別売のタイマーを組み合わせて、希望の時刻から演奏を始めることができます。



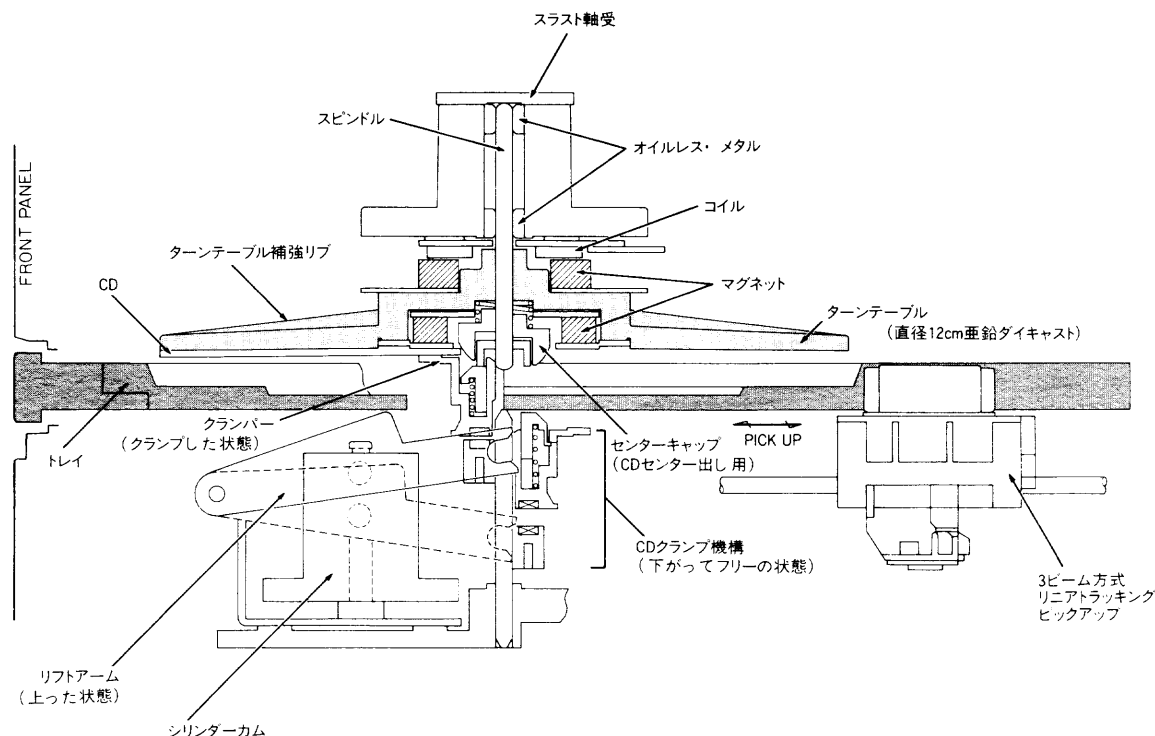
1. 電源コードを図のように接続する。
* 信号ケーブルの接続は、13ページを参照してください。
2. “タイマー”をON状態にし、各機器の電源スイッチもON。
* 各機器へ電源が入ります。
3. ディスクを入れる。
4. ステレオ・アンプの“入力切換スイッチ”を、本機を接続した端子に合わせて切り換える。
音量調整もしてください。
5. “タイマー”を希望の時刻にセット。(各機器への電源が切れます。)
6. 指定した時刻になると、ディスクの1曲目から演奏を開始します。
- タイマー演奏が終わったら、ディスクを取り出しておいてください。

ブロック・ダイアグラム



解説

ドライブ機構略図 (大径圧着式テーパー・ターンテーブル)



ディスクのソリを矯正する大径圧着式テーパー・ターンテーブル採用の V.R.D.S.(Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System) 機構

きわめて安定したスタビライザー効果をもたらす。新開発の大径圧着式テーパー・ターンテーブル採用のV.R.D.S.機構。ディスクと同径で、しかも微小な角度をもつターンテーブルに、高精度に調整されたクランパーがディスク本体を圧着し、ソリや歪みを矯正。そしてターンテーブルと同角度に微調整されたピックアップにより、常にピックアップ光軸の中心で微細なピットを正確に読みとると同時に、ディスクの不要な振動を極少にすることを可能にした全く新しいディスク・クランプ・システムです。すなわちピットをきわめて正確に読みとることで、エラー補正量、サーボ量を大幅に低減。その結果、電気的にはサーボ電流の変動や読みとりエラーを激減させ、機械的にはサーボ時のレンズ振動に起因するノイズの発生や駆動部全体の振動等により発生するノイズを極少

と、音質を飛躍的に向上させることに成功しています。また、従来のCDプレーヤーでは、ピックアップ部とモーターを含めたターンテーブル部が近接せざるを得ない構造であったため、強度や剛性の点で十分であるとは言えませんでした。X-1ではディスク・ドライブ・モーターを垂鉛ダイキャスト・シャーシー上部に固定。ピックアップ部と完全に分離させることでモーター軸受、ピックアップベースの剛性、強度を飛躍的に高めることに成功しました。さらに支持機構を含むターンテーブル駆動部には高剛性垂鉛ダイキャストを使用。耐久性、回転安定性ともに高い信頼性の新開発ブラシレス・ホール・モーターと相まって、振動に影響されず耐振・耐共振性を飛躍的に高めた高精度メカニズムを実現しました。

仕 様

<オーディオ>

オーディオチャンネル数	2チャンネル
周波数特性	0Hz~20kHz±0.3dB (RCA) 20Hz~20kHz±0.5dB (XLR)
SN比	110dB以上 (EIAJ)
ダイナミックレンジ	102dB以上 (EIAJ)
全高調波歪率	0.0013%以下 (EIAJ, 1kHz)
ワウ・フラッター	測定限界値以下 (水晶発振精度)
チャンネルセパレーション	110dB以上 (EIAJ, 1kHz)
アナログ出力	2.1Vrms (RCA) 19.5dBm (7.3Vrms), (XLR)
デジタル出力	0.5Vp-p (COAXIAL) -15~-21dBm (OPTICAL)
D/Aコンバーター	1/6シフト20ビット4DAC +ZD IIサーキット
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング 25ビットデジタルフィルター
アナログフィルター	GIC 3次バターワースフィルター

<ピックアップ>

方式	対物レンズ駆動、光学式3ビーム
対物レンズ駆動方式	2次元平行駆動
光源	半導体レーザー
波長	780nm

<信号フォーマット>

標準化周波数	44.1kHz
量子化ビット数	16ビット・リニア/チャンネル
伝送レート	4.3218Mb/sec
変調方式	EFM
エラー訂正方式	CIRC

<ディスク>

方式	コンパクトディスク
演奏時間	約60分/約20分
ディスク直径	120mm/80mm
ディスク厚	1.2mm
線速度	1.2~1.4m/sec
トラックピッチ	1.6μm

<リモコン>

リモコン方式	赤外線パルス方式
電池	DC 3V 乾電池SUM-3型 2個使用
外形寸法 (W×H×D)	70×202×21mm
重量	150g (電池含む)

<一般>

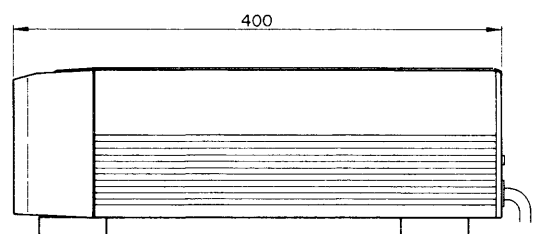
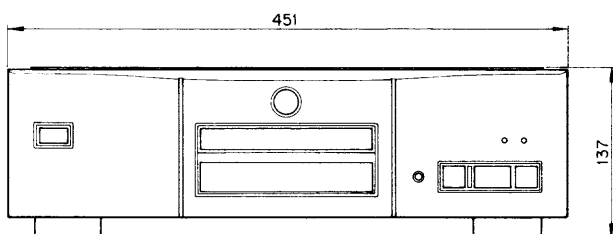
電源	100V AC 50/60Hz
消費電力	24W
外形寸法 (W×H×D)	451×137×400mm
重量	18kg

<付属品>

- ワイヤレスリモコン RC-426×1
- 乾電池(単3, SUM-3)×2
- 取扱説明書
- バインダー

*仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
*製品の改善により、取扱説明書の写真などが一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

[寸法図]



アフター・サービスについて

1. この製品には“御愛用者カード”が添付されております。カードは、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、必要事項を記入の上、なるべく早くご返送下さいますようお願い致します。
2. 保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は、保証書の記載内容により、当社サービス期間が修理いたします。
その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
3. 保証期間経過後、または保証書を掲示されない場合の修理などについてご不明の場合は、ご購入の販売店、もよりの当社営業所またはサービス・センターにご相談ください。
保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
なお、営業所などの所在地および電話番号は、住所欄に記載してあります。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

■サービスのご依頼について

万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認し、お買い上げのお店または裏表紙の住所欄に記載の各営業所などにご連絡ください。

1. 型名、型番
2. 故障の内容
3. お買い上げ年月日「○年○月○日」
4. お名前、住所、電話番号

■お客様のご相談について

製品に関する技術的お問合せなどは、AV技術相談室にお問合せください。

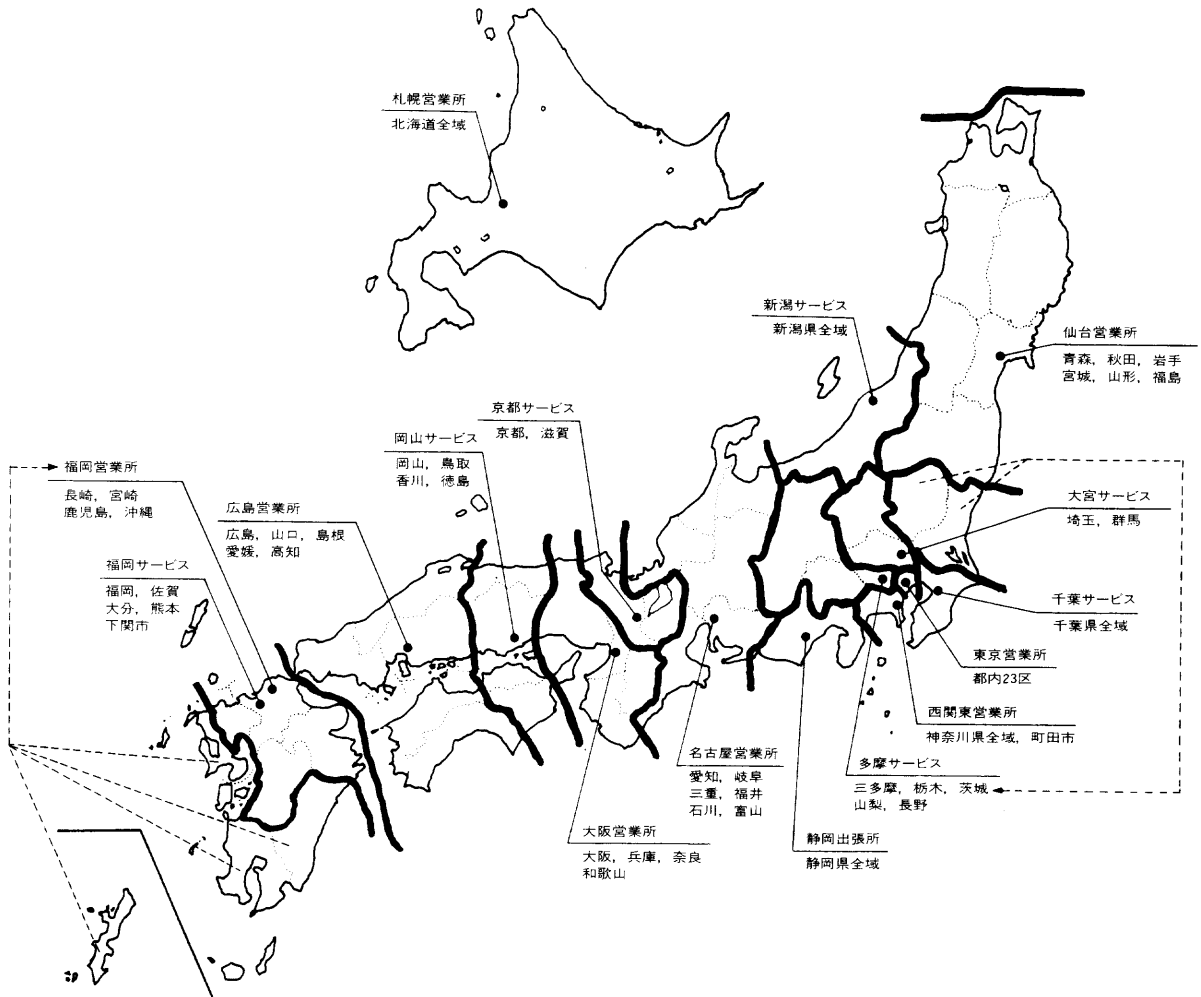
AV技術相談室 ☎(0425)60-7761(直通)
〒190-12 東京都武蔵村山市伊奈平2-11-1

これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむ エチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

TEAC・サービス・エリア



ティアック株式会社

営業部 ☎ (0422)52-5070

〒180 東京都武蔵野市中町1-19-18 武蔵野センタービル

技術的なお問合わせ

AV技術相談室 ☎ (0425)60-7761

〒194-12 東京都武蔵村山市伊奈平2-11-1

サービスに関するお問合わせは、最寄りの営業所等へご連絡ください。
営業所にはサービス・センターが併設されています。

札幌営業所 ☎ (011)521-4101代
仙台営業所 ☎ (022)227-1501代
新潟サービス ☎ (025)245-0103
大宮サービス ☎ (048)642-4551代
多摩サービス ☎ (0425)60-8918
東京営業所 ☎ (03)592-1827代
千葉サービス ☎ (0472)55-1281
西関東営業所 ☎ (0427)51-6771
静岡出張所 ☎ (0542)81-6561代
名古屋営業所 ☎ (052)782-4581代
京都サービス ☎ (075)871-8730代
大阪営業所 ☎ (06)384-5201代
岡山サービス ☎ (0862)25-8601
広島営業所 ☎ (082)294-4751代
福岡営業所 ☎ (092)431-5781代
福岡サービス ☎ (092)936-5672
サービス一課 ☎ (0425)60-8918

〒064 札幌市中央区南7条西2-2 くぼたビル
〒980 仙台市青葉区1番町2-5-5 中央ビル
〒950 新潟県新潟市本馬越1-4-11 黒井ハイツ
〒330 大宮市三橋2-846
〒194-12 東京都武蔵村山市伊奈平2-11-1
〒100 東京都千代田区永田町2-10-7 星ガ岡会館
〒260 千葉市椿森1-21-13 清水ビル
〒229 相模原市千代田1-3-1 M1ビル
〒422 静岡市中島大割2861-1
〒464 名古屋市千種区東山通り3-2-3
〒616 京都市右京区常盤窪町19 西垣ビル
〒564 吹田市垂水町3-34-10
〒700 岡山市新保1142-6
〒730 広島市中区西川口町13-19
〒812 福岡市博多区東光2-2-24
〒811-22 福岡県粕屋郡志免町志免1041
〒194-12 東京都武蔵村山市伊奈平2-11-1

営業所またはサービス・センターの電話番号や住所などは、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。